

## 会議録

会議の名称	平成22年度第2回 西東京市健康づくり推進協議会
開催日時	平成22年9月3日（金曜日） 午後1時から2時45分まで
開催場所	西東京市保谷保健福祉センター2階 健診室
出席者	玉置会長、内田副会長、石田委員、橋岡委員、志藤委員、石井委員、池田委員、大島委員、内田委員、松島委員、平田委員、高梨委員、高西委員、高橋委員、清水委員
議題	(1) 平成22年度第1回協議会議事録の確認について (2) 西東京市健康都市宣言の概要について (3) 西東京市健康づくり推進プラン評価検討状況について
会議資料の名称	(1) 平成22年度第1回協議会議事録の確認について …資料1 議事録承認 議事録は会議同様公開とし、情報公開コーナーに置く。 (2) 西東京市健康都市宣言の概要について …資料2 1. 調査結果の説明…資料2-1、2 粗集計の報告 詳細な解析結果は庁内検討委員会や早稲田大学と検討して報告する。 2. 検討経過、イメージ図の説明…資料2-3～5
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	

1 開会

傍聴人なし

出席委員が過半数のため本協議会は成立

2 議事

(1) 平成22年度第1回協議会議事録の確認について …資料1

議事録承認

議事録は会議同様公開とし、情報公開コーナーに置く。

(2) 西東京市健康都市宣言の概要について …資料2

1. 調査結果の説明…資料2-1、2

粗集計の報告

詳細な解析結果は庁内検討委員会や早稲田大学と検討して報告する。

2. 検討経過、イメージ図の説明…資料2-3～5

○委員：

4つの柱、スローガンは前回と変わっている。一般市民の規範になることは確かだが、推進プランをつくっても周知されていない。宣言文で行動規範をつくるのは賛成だが、推進プランと合致されているか検討してほしい。体のチェックという意味で健診事業の充実を図ることや市民の行動として、積極的に健診を受けるというのを入れたほうがよい。推進プランの成果目標に合致する。

○事務局：

体をチェックすることは確かに必要である。4つの柱は市民が主体的に行動することである。行政は健診を受ける機会を与えることを行政の支援目標のところに入れる予定である。

○委員：

健診を自発的に受けるというのを入れるとインパクトがでる。行政の支援目標に入れるのはよい。

○事務局：

食べる、運動する、休むは行政が強制するものではなく、自発的に市民が動く部分として柱立てにした。

○会長：

具体的に取り組み目標が決まるのはいつか。

○事務局：

宣言文ができる時点で取組目標はできる。事業は予算が関係するので、その都度示す。

○事務局：

健診、予防接種などは宣言文の中で「笑顔で元気に…」というものに必要なことなので抑える必要がある。地球環境が保たれなければ健康が保たれない。文章で見えないところは、行政の取組でわかるように示す。取組目標は庁内検討委員会で出し合っている。

○委員：

具体的に文章として目にふれるのか。車の両輪にある生涯学習がぴんとこない。表現をかえるなどしたほうがよい。

○委員：

宣言の「私たち」の意味がわからない。この目標を達成するために、健診などを市民自らも取り組みましょうというのを入れればよい。保健・福祉・医療・教育の連携というのは上から目線という気がする。市民がいったい何に取り組むのかがわからない。

○委員：

野菜を食べる、運動週1回などは、どこの宣言でもでている。健診を積極的にうけるというのを出したほうがよい。

○委員：

前回の会議では3と4が一緒であった。

○会長：

表現の問題。生涯学習という言葉がそぐわないのではないか。趣味的なこと。車体の部分の連携が、4つの柱と違い、市民が取り組むことと違う。健康づくりの施策と全く同じなので、少しでも違うものを出す。

○委員：

食、運動、休養は健康の部分であり、健診についても部分である。自分の健康は自分で守るために、以下のことをやりますとして、積極的に自分の健康をつくっていくというのを入れたほうがよい。

○事務局：

生涯学習は知的欲求という部分であり、命について学ぶことは健康に対する行動力の源である。

○委員：

小学校では、体育、保健の中で健康について学校教育をしている。

○委員：

精神面のこと、市民の健康都市宣言なので、わかりやすくしたほうがよい。健康寿命100歳というのは、高齢者を対象にした宣言に思える。子どもたちにとっては遠すぎる。行政は環境をつくる、市民は興味をもってもらうようなものが必要である。

○委員：

食のところで野菜だけではなく、バランスも大切。

○委員：

もちろん栄養バランスは大切であるが、インパクトのあるものを表にだすほうがよい。これはこれで案外いいのではないか。やっている人はやっている。

○事務局：

このイメージはたたき台のたたき台である。

○会長：

自覚を持って、行動してほしい。自分の健康は自分でつくるというのは必要である。

○委員：

私たちのという言葉は、行政と市民のどちらにもとれて読みづらい。

○事務局：

わたしたちの取組目標は何個までならいいか。

○委員：

5個まで。

○委員：

公民館などで行っている生涯学習は生涯にわたって学ぶことで様々なことを実施している。

○委員：

生涯学習は他の3つと次元が違う。それならば医療の充実とかを入れた方がいいのではないか。

○委員：

感染症予防をいれたほうがよい。

○委員：

4輪ではなく、5つとかにして医療をいれたほうがよい。

○委員：

100歳になって幸せと思うことを宣言に盛り込めないか。

○会長：

笑顔で健康というところにはいつている。

○事務局：

宣言文の中だけではなく、行政の支援目標に入れて、取組を毎年4月などに発表していく。

(3) 西東京市健康づくり推進プラン評価検討状況について …資料3

○委員：

宣言内容中心にした内容にするか。問題点は母子、学童であり、成人だけにしたい。プランをわけたい。

○事務局：

組織改正で健康課として1つになった。生まれてから死ぬまでの健康づくりはつながっているので、プランをわけるとはできない。

○委員：

わかりづらいし、市民もとまどう。

○事務局：

市民周知が図れなかったのは大きな問題である。高齢者福祉計画や子育て支援計画などとの整合性を図りながら行っていく。

(4) その他

次回予定 10月20日（水曜日）または22日（金曜日）